

記 載 例

(別記1－4様式)

令和〇〇年 〇月〇〇日

上越市長 様

あいうえお活動組織

代表 〇〇 〇〇 印

令和〇〇年度 多面的機能支払交付金に係る地域資源保全管理構想の届出書

多面的機能支払交付金実施要領(平成26年4月1日付け25農振第2255号農村振興局長通知)
第1の2の(2)に基づき、別添のとおり、地域資源保全管理構想を提出します。

記 載 例

(別添)

〇〇地区地域資源保全管理構想 (令和〇〇年〇月作成)

1. 地域で保全管理していく農用地及び施設

(1) 農用地

田 〇〇 a
畑 〇〇 a
草 地 〇〇 a

※活動計画書に合わせて記載する。
※図面は活動計画書の添付図面を利用

(農用地の範囲：別添図面のとおり)

(2) 水路、農道、ため池

水 路 〇〇km
農 道 〇〇km
ため池 〇箇所

・対象とする農用地、施設の範囲、数量、位置を記載する。
・「その他施設等」には、鳥獣害防止施設、防風林等その他の地域で保全管理していく施設について記載する。

(施設の位置：別添図面のとおり)

(3) その他施設等

鳥獣害防止施設 〇箇所
防風林 〇〇km
防風ネット 〇〇km

・ため池やその他施設等は、該当がない場合は、項目を削除する。

(施設の位置：別添図面のとおり)

2. 地域の共同活動で行う保全管理活動

・対象とする活動の範囲、内容を記載する。

(1) 農用地について行う活動

- ・遊休農用地発生状況の確認
- ・遊休農用地発生防止のための保全管理
- ・畦畔・農用地法面の草刈り
- ・異常気象時の対応

毎年1回(4月)
毎年2回(4月, 10月)
毎年3回(4月, 7月, 10月)
洪水、台風、地震等の発生後

(2) 水路、農道、ため池について行う活動

① 水路

- ・泥等の堆積状況及び付帯施設状況の点検確認
- ・水路の草刈り
- ・水路の泥上げ
- ・施設の適正管理(注油など)
- ・異常気象時の対応

毎年1回(4月)
毎年3回(4月, 7月, 10月)
毎年1回(4月)
点検の結果に応じて実施時期を決定
洪水、台風、地震等の発生後

② 農道

- ・路面、法面状態の点検確認
- ・路肩・法面の草刈り
- ・側溝の泥上げ
- ・施設の適正管理(砂利敷きなど)
- ・異常気象時の対応

毎年1回(4月)
毎年3回(4月, 7月, 10月)
点検の結果に応じて実施時期を決定
点検の結果に応じて実施時期を決定
洪水、台風、地震等の発生後

③ ため池

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・施設状況の点検確認(動作確認等) | 毎年1回(4月) |
| ・ため池の草刈り | 毎年3回(4月, 7月, 10月) |
| ・ため池の泥上げ | 点検の結果に応じて実施時期を決定 |
| ・施設の適正管理(施設の掃除など) | 点検の結果に応じて実施時期を決定 |
| ・異常気象時の対応 | 洪水、台風、地震等の発生後 |

(3) その他施設について行う活動

- | | |
|----------------------|------------------|
| ・施設状況の点検確認 | 毎年1回(4月) |
| ・鳥獣害防止柵の保守管理(下草刈りなど) | 点検の結果に応じて実施時期を決定 |
| ・防風林の枝切り | 毎年2回(4月, 10月) |
| ・防風ネットの適正管理(下草刈りなど) | 毎年2回(4月, 10月) |

・ため池やその他施設等は、該当がない場合は、項目を削除する。

3. 地域の共同活動の実施体制

(1) 組織の構成員、意思決定方法

構成員：別添構成員一覧のとおり

※協定書又は規約等に添付している構成員の一覧表を利用

意思決定方法：別添規約のとおり

※活動組織の規約を利用

(2) 構成員の役割分担

- ・地域の共同活動で行う保全管理活動として定めた活動に対し、担い手農家、それ以外の農家、土地持ち非農家、地域住民等の役割を記載する。

① 農用地について行う活動

- ・遊休農用地発生状況の確認：農業者・非農業者
- ・遊休農用地発生防止のための保全管理：農業者・非農業者
- ・畦畔・農用地法面の草刈り：農業者
- ・異常気象時の対応：農業者

② 水路、農道、ため池について行う活動

1) 水路

- ・泥等の堆積状況及び付帯施設状況の点検確認：農業者・非農業者
- ・水路の草刈り：農業者
- ・水路の泥上げ：農業者・非農業者
- ・施設の適正管理(注油など)：農業者
- ・異常気象時の対応：農業者

3) 農道

- ・路面、法面状況の点検確認：農業者・非農業者
- ・路肩・法面の草刈り：農業者
- ・側溝の泥上げ：農業者・非農業者
- ・施設の適正管理(砂利敷きなど)：農業者・非農業者
- ・異常気象時の対応：農業者

4)ため池

- ・施設状況の点検確認(動作確認等)：農業者・非農業者
- ・ため池の草刈り：農業者・非農業者
- ・ため池の泥上げ：農業者・非農業者
- ・施設の適正管理(施設の掃除など)：農業者・非農業者
- ・異常気象時の対応：農業者

・ため池やその他施設等は、該当がない場合は項目を削除する。

③ その他施設について行う活動

- ・施設状況の点検確認：農業者・非農業者
- ・鳥獣害防止柵の保守管理(下草刈りなど)：農業者・非農業者
- ・防風林の枝切り：農業者・非農業者
- ・防風ネットの適正管理(下草刈りなど)：農業者・非農業者

4. 地域農業の担い手の育成・確保

(1) 担い手農家の育成・確保

- ・人・農地プラン等を基に、担い手農家、農地集積の現状及び目標を記載する。

内容例

- ・A集落においては、担い手農家が少ないため、〇〇集落と共同で保全管理を行う。
- ・農地の集積を行い、隣接集落の農業法人Cにお願いして担い手を確保し、保全管理については、集落の農業者も協力し、地域ぐるみで保全管理に取り組む。

※担い手について話し合った内容を記載する。

(2) 農地の利用集積

内容例

- ・耕作放棄地にならないよう、農用地の状況、耕作者の状況の確認を行い、中間管理機構を利用し集積を行う。

5. 適切な保全管理に向けて取り組む活動・方策

- ・作成後5年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組むべき活動・方策を記載する。

(取り組むべき活動・方策の例)

- ・組織体制の強化や活動の拡大を図るための広域組織化やNPO法人化
- ・農地や施設、地域環境を保全するための農地周辺部の活動拡大や遊休農地の有効利用
- ・地域を守る取組の魅力を情報発信する活動、活動への新たな参画者を募る活動
- ・地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動
- ・保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設整備